★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約５年３カ月間（2014年６月27日～2019年９月19日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	豪ドル・コース（毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 豪ドル・クラス」（以下「エクイティファンド 豪ドル・クラス」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド ブラジル・レアル・クラス」（以下「エクイティファンド ブラジル・レアル・クラス」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース（毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 通貨セレクト・クラス」（以下「エクイティファンド 通貨セレクト・クラス」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	豪ドル・コース（毎月分配型）	①主として、エクイティファンド 豪ドル・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティファンド 豪ドル・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、エクイティファンド 豪ドル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティファンド 豪ドル・クラスでは、保有資産の表示通貨売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルへの投資成果の獲得をめざします。ただし、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替取引を行なわない場合があります。
	ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	①主として、エクイティファンド ブラジル・レアル・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティファンド ブラジル・レアル・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、エクイティファンド ブラジル・レアル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティファンド ブラジル・レアル・クラスでは、保有資産の表示通貨売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルへの投資成果の獲得をめざします。ただし、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替取引を行なわない場合があります。
	通貨セレクト・コース（毎月分配型）	①主として、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資し、値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、エクイティファンド 通貨セレクト・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティファンド 通貨セレクト・クラスでは、保有資産の表示通貨売り／選定通貨（※）買いの為替取引を活用して、選定通貨への投資成果の獲得をめざします。ただし、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替取引を行なわない場合があります。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した複数の通貨をいいます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ
豪ドル・コース（毎月分配型）
ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）
通貨セレクト・コース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第２期（決算日　2014年10月20日）
第３期（決算日　2014年11月19日）
第４期（決算日　2014年12月19日）
第５期（決算日　2015年１月19日）
第６期（決算日　2015年２月19日）
第７期（決算日　2015年３月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ」は、このたび、第７期の決算を行ないました。

ここに、第２期～第７期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
http://www.daiwa-am.co.jp/

〈5627〉
〈5628〉
〈5629〉

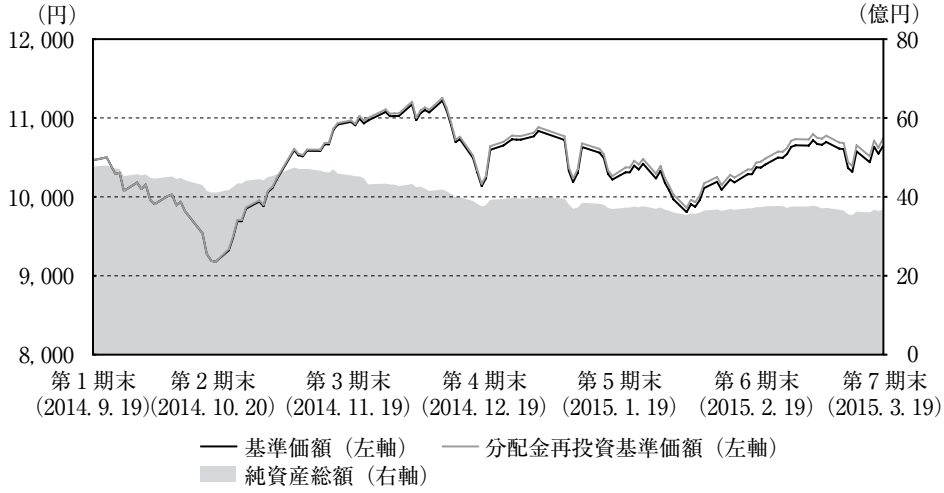
★豪ドル・コース（毎月分配型）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
1期末（2014年9月19日）	10,466	15	4.8	10,088	0.9	97.77	2.1	0.1	98.8	4,771
2期末（2014年10月20日）	9,323	15	△10.8	9,355	△7.3	94.00	△3.9	0.1	97.3	4,174
3期末（2014年11月19日）	10,993	15	18.1	9,977	6.7	101.71	8.2	0.1	97.2	4,519
4期末（2014年12月19日）	10,596	15	△3.5	9,820	△1.6	97.22	△4.4	0.1	96.8	3,926
5期末（2015年1月19日）	10,312	15	△2.5	9,695	△1.3	96.65	△0.6	0.1	97.4	3,726
6期末（2015年2月19日）	10,372	15	0.7	10,177	5.0	92.80	△4.0	0.1	97.8	3,741
7期末（2015年3月19日）	10,643	15	2.8	10,143	△0.3	93.36	0.6	0.1	97.0	3,674

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc.の承諾を得て、ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩ Inc.に帰属します。またＭＳＣＩ Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（注3）海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

■当作成期間（第2期～第7期）中の基準価額と市況の推移



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年月日	基準価額		MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第2期	（期首）2014年9月19日	10,466	—	10,088	—	97.77	—	0.1	98.8
	9月末	10,100	△ 3.5	9,840	△ 2.5	95.19	△ 2.6	0.1	96.8
	（期末）2014年10月20日	9,338	△ 10.8	9,355	△ 7.3	94.00	△ 3.9	0.1	97.3
第3期	（期首）2014年10月20日	9,323	—	9,355	—	94.00	—	0.1	97.3
	10月末	10,220	9.6	9,781	4.6	96.47	2.6	0.1	97.6
	（期末）2014年11月19日	11,008	18.1	9,977	6.7	101.71	8.2	0.1	97.2
第4期	（期首）2014年11月19日	10,993	—	9,977	—	101.71	—	0.1	97.2
	11月末	11,024	0.3	10,092	1.2	100.71	△ 1.0	0.1	98.4
	（期末）2014年12月19日	10,611	△ 3.5	9,820	△ 1.6	97.22	△ 4.4	0.1	96.8
第5期	（期首）2014年12月19日	10,596	—	9,820	—	97.22	—	0.1	96.8
	12月末	10,836	2.3	9,983	1.7	98.07	0.9	0.1	97.4
	（期末）2015年1月19日	10,327	△ 2.5	9,695	△ 1.3	96.65	△ 0.6	0.1	97.4
第6期	（期首）2015年1月19日	10,312	—	9,695	—	96.65	—	0.1	97.4
	1月末	9,969	△ 3.3	9,812	1.2	92.06	△ 4.7	0.1	97.3
	（期末）2015年2月19日	10,387	0.7	10,177	5.0	92.80	△ 4.0	0.1	97.8
第7期	（期首）2015年2月19日	10,372	—	10,177	—	92.80	—	0.1	97.8
	2月末	10,654	2.7	10,270	0.9	93.17	0.4	0.1	97.4
	（期末）2015年3月19日	10,658	2.8	10,143	△ 0.3	93.36	0.6	0.1	97.0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第2期首：10,466円　第7期末：10,643円（既払分配金90円）　騰落率：2.6%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因でしたが、ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド　豪ドル・クラス（以下、「エクイティファンド　豪ドル・クラス」といいます。）で保有している消費関連の株式がおおむね堅調に推移したこと、原資産通貨売り／豪ドル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）などがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、ＩＭＦ（国際通貨基金）が世界経済の成長率見通しを引下げたことや、エボラ出血熱の感染拡大への警戒から旅行需要の落ち込みが懸念されたことなどを受けて、下落して始まりました。しかし2014年10月中旬以降は、米国の低金利が継続するとの見方が高まったことやＥＣＢ（欧州中央銀行）による追加金融緩和策に対する期待などを受けて、株式市況は反発しました。2015年１月に入ると、原油価格の下落やギリシャの政治不安などから調整する局面もありましたが、米国の企業業績がおおむね好調であったことや欧州のマクロ経済の回復などを受けて、底堅い展開が続きました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

豪ドルは、高金利通貨に対する投資家の需要の高まりなどを受けて上昇して始まりました。しかし2014年12月以降は、原油などの資源価格の下落、投資家の安全資産を選好する動きが活発化したこと、ＲＢＡ（オーストラリア中央銀行）が資源価格の下落を根拠に豪ドル安の見通しを示したことなどにより、下落基調が続きました。

○短期金利市況

豪ドルの短期金利は、海外景気の不透明感や資源価格の下落などを背景に、小幅に低下しました。

また米国では、2013年12月にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が量的金融緩和策の縮小に踏み出し、2014年10月に資産購入プログラムの終了が決定されました。一方で、政策金利の誘導目標レンジは０～0.25%で据え置かれました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

今後も主として、エクイティファンド　豪ドル・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドはエクイティファンド　豪ドル・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンド　豪ドル・クラスへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○エクイティファンド　豪ドル・クラス

株式の個別銘柄で寄与度が高かった銘柄はMALLINCKRODT PLC（米国、ヘルスケア）、STARBUCKS CORPORATION（米国、一般消費財・サービス）、AVAGO TECHNOLOGIES LIMITED（米国、情報技術）、寄与度が低かった銘柄はLYONDELLBASELL INDUSTRIES NV（オランダ、素材）、PARADISE（韓国、一般消費財・サービス）などでした。

また、原資産通貨売り／豪ドル買いの為替取引を行ないました。

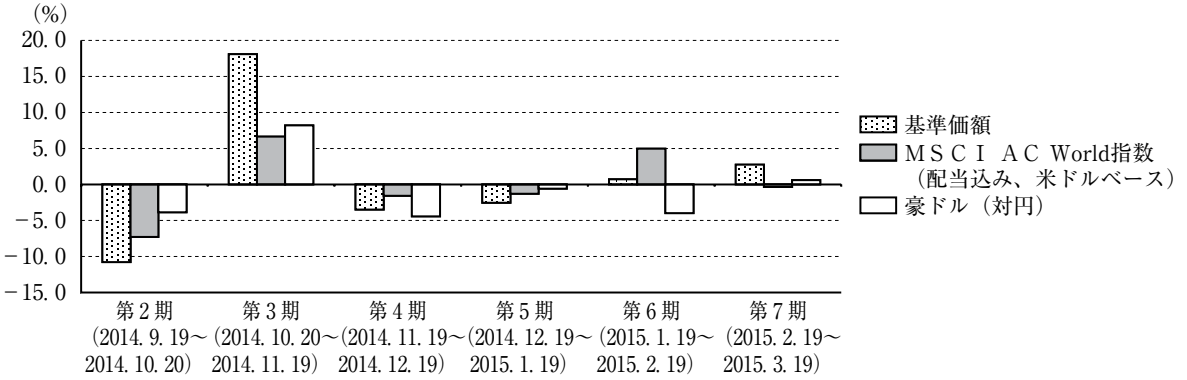
○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価および目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

第２期から第７期の１万口当り分配金（税込み）はそれぞれ15円といたしました。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
	2014年９月20日〜2014年10月20日	2014年10月21日〜2014年11月19日	2014年11月20日〜2014年12月19日	2014年12月20日〜2015年１月19日	2015年１月20日〜2015年２月19日	2015年２月20日〜2015年３月19日
当期分配金（税込み）（円）	15	15	15	15	15	15
対基準価額比率（%）	0.16	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14
当期の収益（円）	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	468	993	997	1,005	1,019	1,033

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期
(a) 経費控除後の配当等収益	22.08円	31.34円	21.69円	22.58円	28.14円	30.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	506.44	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収　益　調　整　金	5.86	9.79	10.57	11.87	13.80	22.01
(d) 分配準備積立金	455.29	460.60	980.56	985.95	992.07	996.75
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	483.23	1,008.19	1,012.83	1,020.41	1,034.01	1,048.87
(f) 分　配　金	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e−f）	468.23	993.19	997.83	1,005.41	1,019.01	1,033.87

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、エクイティファンド　豪ドル・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンド　豪ドル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○エクイティファンド　豪ドル・クラス

今後も、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の株式に投資します。同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに厳選投資してまいります。

また、原資産通貨売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■１万口当りの費用の明細

項　　目	第２期～第７期 (2014. 9. 20 ～ 2015. 3. 19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	66円	0. 631%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10, 395円です。
（投信会社）	(19)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(44)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	66	0. 635	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

決算期	第　２　期　～　第　７　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外　　国 （邦貨建）	746. 377	77, 000	12, 233. 655	1, 300, 000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

第　２　期　～　第　７　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	12, 233. 655	1, 300, 000	106

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第２期～第７期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

決算期	第２期～第７期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	10,609	209	2.0	—	—	—
コール・ローン	144,552	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.2%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第２期～第７期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第７期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND AUD CLASS	33,643.87	3,564,265	97.0

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第１期末	第７期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	4,184	4,184	4,200

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年３月19日現在

項目	第７期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,564,265	96.7
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	4,200	0.1
コール・ローン等、その他	115,537	3.2
投資信託財産総額	3,684,003	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2014年10月20日）、（2014年11月19日）、（2014年12月19日）、（2015年１月19日）、（2015年２月19日）、（2015年３月19日）現在

項目	第２期末	第３期末	第４期末	第５期末	第６期末	第７期末
(A)資産	**4,185,867,619円**	**4,701,064,146円**	**4,036,636,942円**	**3,817,471,125円**	**3,750,619,395円**	**3,684,003,632円**
コール・ローン等	120,977,207	66,025,817	29,911,236	25,486,450	87,452,575	115,537,546
投資信託受益証券(評価額)	4,060,689,575	4,390,837,493	3,802,524,869	3,627,783,839	3,658,965,983	3,564,265,249
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	4,200,837	4,200,837	4,200,837	4,200,837	4,200,837	4,200,837
未収入金	—	239,999,999	200,000,000	159,999,999	—	—
(B)負債	**11,600,546**	**181,787,840**	**110,017,647**	**90,977,048**	**9,528,439**	**9,005,603**
未払金	—	120,000,000	100,000,000	80,000,000	—	—
未払収益分配金	6,716,091	6,166,465	5,558,777	5,420,629	5,410,137	5,179,397
未払解約金	—	50,802,163	—	1,234,680	—	42,467
未払信託報酬	4,853,623	4,758,154	4,370,054	4,206,203	3,977,501	3,619,945
その他未払費用	30,832	61,058	88,816	115,536	140,801	163,794
(C)純資産総額(A−B)	**4,174,267,073**	**4,519,276,306**	**3,926,619,295**	**3,726,494,077**	**3,741,090,956**	**3,674,998,029**
元本	4,477,394,149	4,110,976,938	3,705,851,750	3,613,753,268	3,606,758,326	3,452,931,808
次期繰越損益金	△303,127,076	408,299,368	220,767,545	112,740,809	134,332,630	222,066,221
(D)受益権総口数	**4,477,394,149口**	**4,110,976,938口**	**3,705,851,750口**	**3,613,753,268口**	**3,606,758,326口**	**3,452,931,808口**
１万口当り基準価額(C／D)	**9,323円**	**10,993円**	**10,596円**	**10,312円**	**10,372円**	**10,643円**

＊第１期末における元本額は4,558,994,878円、当作成期間（第２期～第７期）中における追加設定元本額は118,091,305円、同解約元本額は1,224,154,375円です。
＊第７期末の計算口数当りの純資産額は10,643円です。

■損益の状況

第２期　自2014年９月20日　至2014年10月20日　　第５期　自2014年12月20日　至2015年１月19日
第３期　自2014年10月21日　至2014年11月19日　　第６期　自2015年１月20日　至2015年２月19日
第４期　自2014年11月20日　至2014年12月19日　　第７期　自2015年２月20日　至2015年３月19日

項目	第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
(A)配当等収益	**14,770,845円**	**12,976,524円**	**12,438,446円**	**12,393,547円**	**11,639,271円**	**10,782,716円**
受取配当金	14,766,723	12,972,706	12,435,122	12,390,291	11,634,824	10,778,892
受取利息	4,122	3,818	3,324	3,256	4,447	3,824
(B)有価証券売買損益	**△514,080,962**	**683,102,420**	**△149,767,272**	**△105,327,828**	**19,635,682**	**90,944,138**
売買益	4,619,887	733,968,048	2,887,520	2,280,302	19,653,857	94,240,121
売買損	△518,700,849	△50,865,628	△152,654,792	△107,608,130	△18,175	△3,295,983
(C)信託報酬等	**△4,884,455**	**△4,788,380**	**△4,397,812**	**△4,232,923**	**△4,002,766**	**△3,642,938**
(D)当期損益金(A+B+C)	**△504,194,572**	**691,290,564**	**△141,726,638**	**△97,167,204**	**27,272,187**	**98,083,916**
(E)前期繰越損益金	**203,852,643**	**△280,851,588**	**363,381,402**	**210,447,948**	**107,492,919**	**122,795,604**
(F)追加信託差損益金	**3,930,944**	**4,026,857**	**4,671,558**	**4,880,694**	**4,977,661**	**6,366,098**
(配当等相当額)	(2,624,073)	(3,163,385)	(3,919,703)	(4,292,665)	(4,817,932)	(7,600,627)
(売買損益相当額)	(1,306,871)	(863,472)	(751,855)	(588,029)	(159,729)	(△1,234,529)
(G)合計(D+E+F)	**△296,410,985**	**414,465,833**	**226,326,322**	**118,161,438**	**139,742,767**	**227,245,618**
(H)収益分配金	**△6,716,091**	**△6,166,465**	**△5,558,777**	**△5,420,629**	**△5,410,137**	**△5,179,397**
次期繰越損益金(G+H)	**△303,127,076**	**408,299,368**	**220,767,545**	**112,740,809**	**134,332,630**	**222,066,221**
追加信託差損益金	3,930,944	4,026,857	4,671,558	4,880,694	4,977,661	6,366,098
(配当等相当額)	(2,624,073)	(3,163,385)	(3,919,703)	(4,292,665)	(4,817,932)	(7,600,627)
(売買損益相当額)	(1,306,871)	(863,472)	(751,855)	(588,029)	(159,729)	(△1,234,529)
分配準備積立金	207,023,042	404,272,511	365,863,331	359,040,923	362,557,975	349,390,527
繰越損益金	△514,081,062	—	△149,767,344	△251,180,808	△233,203,006	△133,690,404

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は９ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,886,490円	12,887,557円	8,040,706円	8,160,686円	10,149,502円	10,396,634円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	208,197,139	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,624,073	4,026,857	3,919,703	4,292,665	4,977,661	7,600,627
(d) 分配準備積立金	203,852,643	189,354,280	363,381,402	356,300,866	357,818,610	344,173,290
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	216,363,206	414,465,833	375,341,811	368,754,217	372,945,773	362,170,551
(f) 分配金	6,716,091	6,166,465	5,558,777	5,420,629	5,410,137	5,179,397
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	209,647,115	408,299,368	369,783,034	363,333,588	367,535,636	356,991,154
(h) 受益権総口数	4,477,394,149口	4,110,976,938口	3,705,851,750口	3,613,753,268口	3,606,758,326口	3,452,931,808口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
１万口当り分配金	第　２　期	第　３　期	第　４　期	第　５　期	第　６　期	第　７　期
	15円	15円	15円	15円	15円	15円
（単　　価）	（9, 323円）	（10, 993円）	（10, 596円）	（10, 312円）	（10, 372円）	（10, 643円）

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（　）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて
・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》
●運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月１日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の２種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。
●書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月１日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」に変更されました。
・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

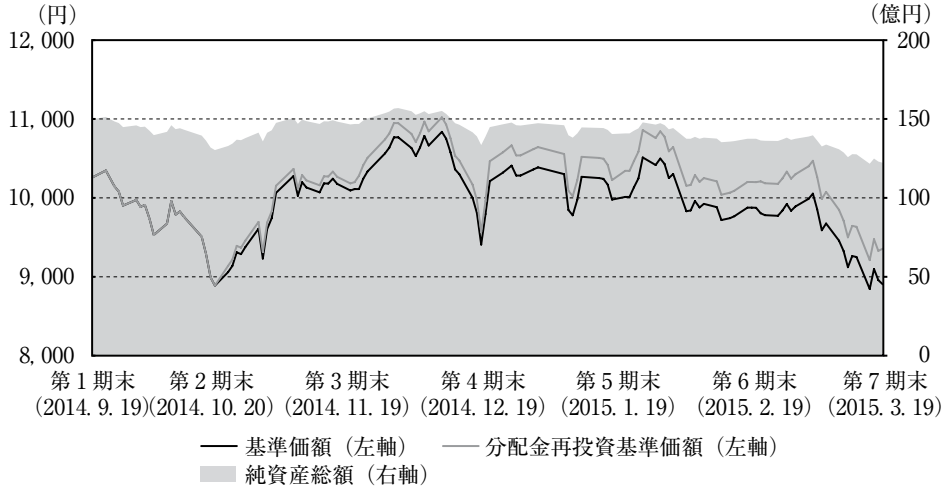
★ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
1期末（2014年9月19日）	10,261	80	3.4	10,088	0.9	45.99	△ 0.5	0.1	98.5	14,985
2期末（2014年10月20日）	9,059	80	△ 10.9	9,355	△ 7.3	43.98	△ 4.4	0.1	98.9	13,287
3期末（2014年11月19日）	10,111	80	12.5	9,977	6.7	45.31	3.0	0.1	98.8	14,688
4期末（2014年12月19日）	10,212	80	1.8	9,820	△ 1.6	44.68	△ 1.4	0.1	97.1	14,482
5期末（2015年1月19日）	10,013	80	△ 1.2	9,695	△ 1.3	44.77	0.2	0.1	97.2	14,092
6期末（2015年2月19日）	9,804	80	△ 1.3	10,177	5.0	41.83	△ 6.6	0.1	99.2	13,643
7期末（2015年3月19日）	8,904	80	△ 8.4	10,143	△ 0.3	37.30	△ 10.8	0.1	97.1	12,227

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc.の承諾を得て、ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩ Inc.に帰属します。またＭＳＣＩ Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（注3）海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

■当作成期間（第2期～第7期）中の基準価額と市況の推移



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年月日	基準価額		MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
	（期首）2014年9月19日	10,261	—	10,088	—	45.99	—	0.1	98.5
第2期	9月末	9,887	△ 3.6	9,840	△ 2.5	44.73	△ 2.7	0.1	98.2
	（期末）2014年10月20日	9,139	△ 10.9	9,355	△ 7.3	43.98	△ 4.4	0.1	98.9
	（期首）2014年10月20日	9,059	—	9,355	—	43.98	—	0.1	98.9
第3期	10月末	10,064	11.1	9,781	4.6	45.48	3.4	0.1	99.1
	（期末）2014年11月19日	10,191	12.5	9,977	6.7	45.31	3.0	0.1	98.8
	（期首）2014年11月19日	10,111	—	9,977	—	45.31	—	0.1	98.8
第4期	11月末	10,767	6.5	10,092	1.2	46.69	3.0	0.1	98.6
	（期末）2014年12月19日	10,292	1.8	9,820	△ 1.6	44.68	△ 1.4	0.1	97.1
	（期首）2014年12月19日	10,212	—	9,820	—	44.68	—	0.1	97.1
第5期	12月末	10,387	1.7	9,983	1.7	44.52	△ 0.4	0.1	97.1
	（期末）2015年1月19日	10,093	△ 1.2	9,695	△ 1.3	44.77	0.2	0.1	97.2
	（期首）2015年1月19日	10,013	—	9,695	—	44.77	—	0.1	97.2
第6期	1月末	10,304	2.9	9,812	1.2	45.40	1.4	0.1	97.9
	（期末）2015年2月19日	9,884	△ 1.3	10,177	5.0	41.83	△ 6.6	0.1	99.2
	（期首）2015年2月19日	9,804	—	10,177	—	41.83	—	0.1	99.2
第7期	2月末	9,890	0.9	10,270	0.9	41.04	△ 1.9	0.1	99.4
	（期末）2015年3月19日	8,984	△ 8.4	10,143	△ 0.3	37.30	△ 10.8	0.1	97.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第2期首：10,261円　第7期末：8,904円（既払分配金480円）　騰落率：△8.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラス（以下、「エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラス」といいます。）で保有している消費関連の株式がおおむね堅調に推移したこと、原資産通貨売り／ブラジル・レアル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラス要因でしたが、ブラジル・レアルが対円で大幅に下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、ＩＭＦ（国際通貨基金）が世界経済の成長率見通しを引下げたことや、エボラ出血熱の感染拡大への警戒から旅行需要の落ち込みが懸念されたことなどを受けて、下落して始まりました。しかし2014年10月中旬以降は、米国の低金利が継続するとの見方が高まったことやＥＣＢ（欧州中央銀行）による追加金融緩和策に対する期待などを受けて、株式市況は反発しました。2015年１月に入ると、原油価格の下落やギリシャの政治不安などから調整する局面もありましたが、米国の企業業績がおおむね好調であったことや欧州のマクロ経済の回復などを受けて、底堅い展開が続きました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

ブラジル・レアルの対円相場は、おおむねレンジでの推移が続きましたが、2015年２月以降に、ブラジル政府のレアル安容認発言や大手石油会社ペトロブラス社の汚職捜査などの悪材料が相次ぎ、下落基調が続きました。

○短期金利市況

ブラジル・レアルの短期金利は、インフレ懸念による利上げ観測の高まりなどを背景に、上昇基調が続きました。

また米国では、2013年12月にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が量的金融緩和策の縮小に踏み出し、2014年10月に資産購入プログラムの終了が決定されました。一方で、政策金利の誘導目標レンジは０～0.25%で据え置かれました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

今後も主として、エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドはエクイティファンド　ブラジル・レアル・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラスへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラス

株式の個別銘柄で寄与度が高かった銘柄はMALLINCKRODT PLC（米国、ヘルスケア）、STARBUCKS CORPORATION（米国、一般消費財・サービス）、AVAGO TECHNOLOGIES LIMITED（米国、情報技術）、寄与度が低かった銘柄はLYONDELLBASELL INDUSTRIES NV（オランダ、素材）、PARADISE（韓国、一般消費財・サービス）などでした。

また、原資産通貨売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。

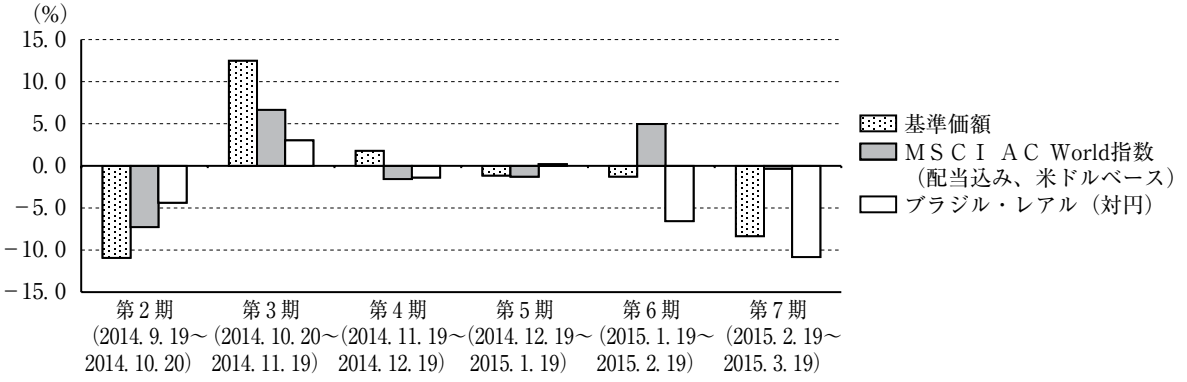
○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

第２期から第７期の１万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
		2014年９月20日〜2014年10月20日	2014年10月21日〜2014年11月19日	2014年11月20日〜2014年12月19日	2014年12月20日〜2015年１月19日	2015年１月20日〜2015年２月19日	2015年２月20日〜2015年３月19日
当期分配金（税込み）（円）		80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（%）		0.88	0.79	0.78	0.79	0.81	0.89
	当期の収益（円）	80	80	80	80	80	80
	当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）		272	284	297	311	314	327

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第　2　期	第　3　期	第　4　期	第　5　期	第　6　期	第　7　期
(a) 経費控除後の配当等収益	92.44円	92.19円	92.50円	93.99円	83.45円	92.54円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収　益　調　整　金	4.48	6.76	8.84	9.43	10.00	10.68
(d) 分配準備積立金	255.23	265.70	276.06	288.00	301.42	304.22
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	352.15	364.66	377.42	391.42	394.89	407.44
(f) 分　　配　　金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e−f）	272.15	284.66	297.42	311.42	314.89	327.44

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○エクイティファンド　ブラジル・レアル・クラス

今後も、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の株式に投資します。同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに厳選投資してまいります。

また、原資産通貨売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■１万口当りの費用の明細

項　　目	第２期～第７期 (2014. 9. 20 ～ 2015. 3. 19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	63円	0. 631%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9, 952円です。
（投信会社）	(19)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(43)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	63	0. 635	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

決算期	第　２　期　～　第　７　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外　　国 （邦貨建）	8, 751. 753	852, 853	18, 347. 896	1, 800, 000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

第　２　期　～　第　７　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	18, 347. 896	1, 800, 000	98

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第２期～第７期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

決算期	第２期～第７期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	10,609	209	2.0	—	—	—
コール・ローン	144,552	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.5%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第２期～第７期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第７期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND BRL CLASS	135,843.538	11,871,638	97.1

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第１期末	第７期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	12,952	12,952	13,002

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年３月19日現在

項目	第７期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	11,871,638	96.1
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	13,002	0.1
コール・ローン等、その他	467,759	3.8
投資信託財産総額	12,352,400	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2014年10月20日）、（2014年11月19日）、（2014年12月19日）、（2015年１月19日）、（2015年２月19日）、（2015年３月19日）現在

項目	第２期末	第３期末	第４期末	第５期末	第６期末	第７期末
(A)資産	**13,422,270,690円**	**14,820,660,455円**	**14,915,237,007円**	**14,422,841,699円**	**13,778,843,956円**	**12,352,400,523円**
コール・ローン等	271,974,194	293,354,344	246,200,963	307,866,586	226,129,811	467,759,436
投資信託受益証券(評価額)	13,137,293,905	14,514,303,520	14,056,033,454	13,701,972,523	13,539,711,554	11,871,638,496
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	13,002,591	13,002,591	13,002,591	13,002,591	13,002,591	13,002,591
未収入金	—	—	599,999,999	399,999,999	—	—
(B)負債	**134,633,652**	**132,573,743**	**433,219,354**	**330,217,188**	**135,106,194**	**124,766,906**
未払金	—	—	300,000,000	200,000,000	—	—
未払収益分配金	117,344,204	116,215,931	113,453,252	112,590,719	111,327,627	109,868,016
未払解約金	1,732,512	1,041,762	3,733,796	1,567,563	8,069,131	1,336,228
未払信託報酬	15,458,697	15,121,716	15,737,954	15,665,007	15,218,822	12,989,501
その他未払費用	98,239	194,334	294,352	393,899	490,614	573,161
(C)純資産総額(A−B)	**13,287,637,038**	**14,688,086,712**	**14,482,017,653**	**14,092,624,511**	**13,643,737,762**	**12,227,633,617**
元本	14,668,025,534	14,526,991,477	14,181,656,535	14,073,839,909	13,915,953,435	13,733,502,089
次期繰越損益金	△1,380,388,496	161,095,235	300,361,118	18,784,602	△272,215,673	△1,505,868,472
(D)受益権総口数	**14,668,025,534口**	**14,526,991,477口**	**14,181,656,535口**	**14,073,839,909口**	**13,915,953,435口**	**13,733,502,089口**
１万口当り基準価額(C／D)	**9,059円**	**10,111円**	**10,212円**	**10,013円**	**9,804円**	**8,904円**

＊第１期末における元本額は14,604,165,098円、当作成期間（第２期～第７期）中における追加設定元本額は379,976,739円、同解約元本額は1,250,639,748円です。
＊第７期末の計算口数当りの純資産額は8,904円です。
＊第７期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,505,868,472円です。

■損益の状況

第２期　自2014年９月20日　至2014年10月20日　　第５期　自2014年12月20日　至2015年１月19日
第３期　自2014年10月21日　至2014年11月19日　　第６期　自2015年１月20日　至2015年２月19日
第４期　自2014年11月20日　至2014年12月19日　　第７期　自2015年２月20日　至2015年３月19日

項目	第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
(A)配当等収益	**151,150,369円**	**135,170,841円**	**139,352,674円**	**148,044,899円**	**131,447,542円**	**140,164,075円**
受取配当金	151,141,186	135,163,611	139,343,452	148,028,838	131,433,385	140,155,578
受取利息	9,183	7,230	9,222	16,061	14,157	8,497
(B)有価証券売買損益	**△1,778,286,079**	**1,517,848,891**	**131,123,391**	**△299,013,896**	**△295,580,021**	**△1,254,348,937**
売買益	1,436,186	1,540,074,349	162,369,543	4,388,594	1,836,748	11,309,082
売買損	△1,779,722,265	△22,225,458	△31,246,152	△303,402,490	△297,416,769	△1,265,658,019
(C)信託報酬等	**△15,556,936**	**△15,217,811**	**△15,837,972**	**△15,764,554**	**△15,315,537**	**△13,072,048**
(D)当期損益金(A+B+C)	**△1,642,692,646**	**1,637,801,921**	**254,638,093**	**△166,733,551**	**△179,448,016**	**△1,127,256,910**
(E)前期繰越損益金	**374,379,226**	**△1,362,217,789**	**154,556,472**	**292,907,975**	**13,406,340**	**△273,141,879**
(F)追加信託差損益金	**5,269,128**	**1,727,034**	**4,619,805**	**5,200,897**	**5,153,630**	**4,398,333**
(配当等相当額)	(6,575,263)	(9,831,164)	(12,549,805)	(13,272,865)	(13,928,991)	(14,671,305)
(売買損益相当額)	(△1,306,135)	(△8,104,130)	(△7,930,000)	(△8,071,968)	(△8,775,361)	(△10,272,972)
(G)合計(D+E+F)	**△1,263,044,292**	**277,311,166**	**413,814,370**	**131,375,321**	**△160,888,046**	**△1,396,000,456**
(H)収益分配金	**△117,344,204**	**△116,215,931**	**△113,453,252**	**△112,590,719**	**△111,327,627**	**△109,868,016**
次期繰越損益金(G+H)	**△1,380,388,496**	**161,095,235**	**300,361,118**	**18,784,602**	**△272,215,673**	**△1,505,868,472**
追加信託差損益金	5,269,128	1,727,034	4,619,805	5,200,897	5,153,630	4,398,333
(配当等相当額)	(6,575,263)	(9,831,164)	(12,549,805)	(13,272,865)	(13,928,991)	(14,671,305)
(売買損益相当額)	(△1,306,135)	(△8,104,130)	(△7,930,000)	(△8,071,968)	(△8,775,361)	(△10,272,972)
分配準備積立金	392,628,777	403,697,468	409,248,754	425,017,789	424,272,819	435,030,656
繰越損益金	△1,778,286,401	△244,329,267	△113,507,441	△411,434,084	△701,642,122	△1,945,297,461

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は19ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	135,593,755円	133,926,345円	131,193,189円	132,280,546円	116,132,205円	127,092,249円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,575,263	9,831,164	12,549,805	13,272,865	13,928,991	14,671,305
(d) 分配準備積立金	374,379,226	385,987,054	391,508,817	405,327,962	419,468,241	417,806,423
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	516,548,244	529,744,563	535,251,811	550,881,373	549,529,437	559,569,977
(f) 分配金	117,344,204	116,215,931	113,453,252	112,590,719	111,327,627	109,868,016
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	399,204,040	413,528,632	421,798,559	438,290,654	438,201,810	449,701,961
(h) 受益権総口数	14,668,025,534口	14,526,991,477口	14,181,656,535口	14,073,839,909口	13,915,953,435口	13,733,502,089口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第　2　期	第　3　期	第　4　期	第　5　期	第　6　期	第　7　期
	80円	80円	80円	80円	80円	80円
（単　　価）	（9, 059円）	（10, 111円）	（10, 212円）	（10, 013円）	（9, 804円）	（8, 904円）

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（　）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月１日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の２種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月１日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」に変更されました。
・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

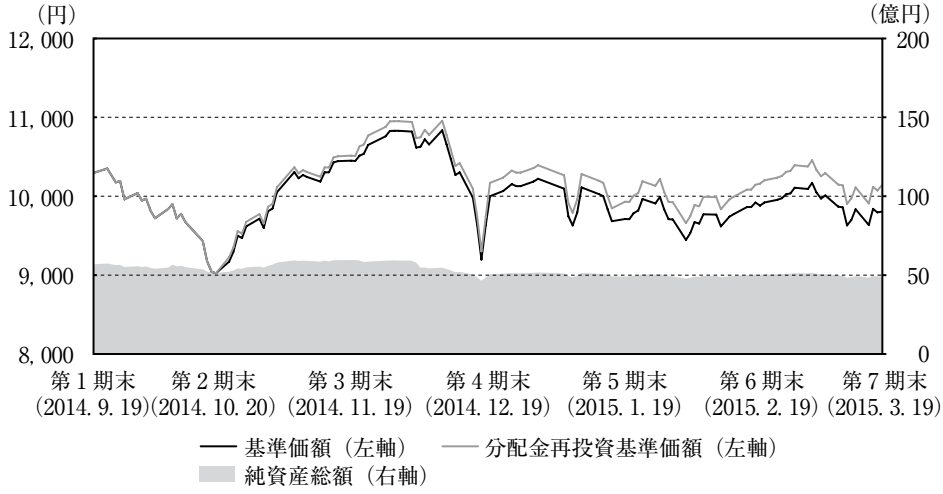
★通貨セレクト・コース（毎月分配型）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1期末(2014年9月19日)	10,297	55	3.5	10,088	0.9	0.1	97.9	5,690
2期末(2014年10月20日)	9,172	55	△ 10.4	9,355	△ 7.3	0.1	97.7	5,221
3期末(2014年11月19日)	10,514	55	15.2	9,977	6.7	0.0	95.7	5,921
4期末(2014年12月19日)	10,001	55	△ 4.4	9,820	△ 1.6	0.1	98.0	5,050
5期末(2015年1月19日)	9,711	55	△ 2.3	9,695	△ 1.3	0.1	97.3	4,908
6期末(2015年2月19日)	9,881	55	2.3	10,177	5.0	0.1	97.8	5,003
7期末(2015年3月19日)	9,804	55	△ 0.2	10,143	△ 0.3	0.1	97.1	4,908

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc.の承諾を得て、ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＭＳＣＩ ＡＣ World指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩ Inc.に帰属します。またＭＳＣＩ Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（注3）海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注5）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

■当作成期間（第2期～第7期）中の基準価額と市況の推移



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年　月　日	基準価額		MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第2期	（期首）2014年9月19日	10,297	—	10,088	—	0.1	97.9
	9月末	9,947	△ 3.4	9,840	△ 2.5	0.1	97.5
	（期末）2014年10月20日	9,227	△ 10.4	9,355	△ 7.3	0.1	97.7
第3期	（期首）2014年10月20日	9,172	—	9,355	—	0.1	97.7
	10月末	10,051	9.6	9,781	4.6	0.1	96.8
	（期末）2014年11月19日	10,569	15.2	9,977	6.7	0.0	95.7
第4期	（期首）2014年11月19日	10,514	—	9,977	—	0.0	95.7
	11月末	10,830	3.0	10,092	1.2	0.1	98.7
	（期末）2014年12月19日	10,056	△ 4.4	9,820	△ 1.6	0.1	98.0
第5期	（期首）2014年12月19日	10,001	—	9,820	—	0.1	98.0
	12月末	10,222	2.2	9,983	1.7	0.1	97.9
	（期末）2015年1月19日	9,766	△ 2.3	9,695	△ 1.3	0.1	97.3
第6期	（期首）2015年1月19日	9,711	—	9,695	—	0.1	97.3
	1月末	9,706	△ 0.1	9,812	1.2	0.1	97.1
	（期末）2015年2月19日	9,936	2.3	10,177	5.0	0.1	97.8
第7期	（期首）2015年2月19日	9,881	—	10,177	—	0.1	97.8
	2月末	10,108	2.3	10,270	0.9	0.1	97.9
	（期末）2015年3月19日	9,859	△ 0.2	10,143	△ 0.3	0.1	97.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第2期首：10,297円　第7期末：9,804円（既払分配金330円）　騰落率：△1.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド　通貨セレクト・クラス（以下、「エクイティファンド　通貨セレクト・クラス」といいます。）で保有している消費関連の株式がおおむね堅調に推移したこと、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）などがプラス要因でしたが、ロシア・ルーブルやブラジル・レアルなど一部の選定通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、ＩＭＦ（国際通貨基金）が世界経済の成長率見通しを引下げたことや、エボラ出血熱の感染拡大への警戒から旅行需要の落ち込みが懸念されたことなどを受けて、下落して始まりました。しかし2014年10月中旬以降は、米国の低金利が継続するとの見方が高まったことやＥＣＢ（欧州中央銀行）による追加金融緩和策に対する期待などを受けて、株式市況は反発しました。2015年１月に入ると、原油価格の下落やギリシャの政治不安などから調整する局面もありましたが、米国の企業業績がおおむね好調であったことや欧州のマクロ経済の回復などを受けて、底堅い展開が続きました。

○為替相場

インド・ルピー、ニュージーランド・ドルは対円で上昇しました。一方で、南アフリカ・ランドは対円でおおむね横ばい、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、豪ドル、ロシア・ルーブル、メキシコ・ペソは対円で下落しました。

第２期首から2014年11月末にかけては、日銀による追加金融緩和に加え、日本の2014年７－９月期ＧＤＰ（国内総生産）の悪化や衆議院解散の発表などを背景に円安が進み、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。12月から2015年１月末は、原油価格の下落を受けて、豪ドルやロシア・ルーブルなどの資源国通貨が軟調に推移しました。２月以降は、世界的な株高から市場のリスク選好度が高まる中、ニュージーランド・ドル、豪ドル、インド・ルピーなどの通貨は堅調に推移しましたが、ブラジル・レアルは大手石油会社ペトロブラス社の汚職捜査などが嫌気され、軟調な推移となりました。

○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

また米国では、2013年12月にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が量的金融緩和策の縮小に踏み出し、2014年10月に資産購入プログラムの終了が決定されました。一方で、政策金利の誘導目標レンジは０～0.25%で据え置かれました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

今後も主として、エクイティファンド　通貨セレクト・クラスの受益証券を通じて、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドはエクイティファンド　通貨セレクト・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティファンド　通貨セレクト・クラスへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○エクイティファンド　通貨セレクト・クラス

株式の個別銘柄で寄与度が高かった銘柄はMALLINCKRODT PLC（米国、ヘルスケア）、STARBUCKS CORPORATION（米国、一般消費財・サービス）、AVAGO TECHNOLOGIES LIMITED（米国、情報技術）、寄与度が低かった銘柄はLYONDELLBASELL INDUSTRIES NV（オランダ、素材）、PARADISE（韓国、一般消費財・サービス）などでした。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないました。

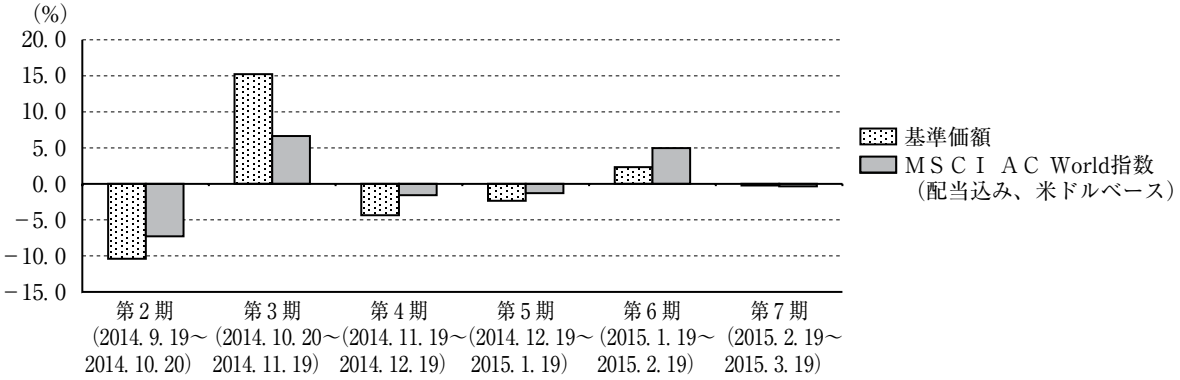
○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

第２期から第７期の１万口当り分配金（税込み）はそれぞれ55円といたしました。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
		2014年９月20日〜2014年10月20日	2014年10月21日〜2014年11月19日	2014年11月20日〜2014年12月19日	2014年12月20日〜2015年１月19日	2015年１月20日〜2015年２月19日	2015年２月20日〜2015年３月19日
当期分配金（税込み）（円）		55	55	55	55	55	55
対基準価額比率（%）		0.60	0.52	0.55	0.56	0.55	0.56
	当期の収益（円）	55	55	55	55	55	55
	当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）		306	538	547	559	566	566

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
(a) 経費控除後の配当等収益	60.89円	72.72円	63.16円	66.82円	61.93円	55.49円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	214.93	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	15.20	19.28	21.73	25.42	26.42	27.31
(d) 分配準備積立金	284.90	286.81	517.11	521.93	532.77	538.84
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	361.00	593.75	602.00	614.18	621.13	621.64
(f) 分配金	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e−f）	306.00	538.75	547.00	559.18	566.13	566.64

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、エクイティファンド　通貨セレクト・クラスとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、エクイティファンド　通貨セレクト・クラスへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○エクイティファンド　通貨セレクト・クラス

今後も、新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の株式に投資します。同業他社比で競争力があり、利益成長性が相対的に高い銘柄や、安定したキャッシュフロー成長が見込める銘柄などに厳選投資してまいります。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■１万口当りの費用の明細

項　　目	第２期～第７期 (2014. 9. 20 ～ 2015. 3. 19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	63円	0. 631%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9, 976円です。
（投信会社）	(19)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(43)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	63	0. 635	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

決算期	第　２　期　～　第　７　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外　　国 （邦貨建）	3, 637. 717	356, 765	8, 890. 995	920, 000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

第　２　期　～　第　７　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　　数	金　　額	平均単価	銘　　柄	口　　数	金　　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND CS CLASS（ケイマン諸島）	1, 332. 554	130, 000	97	MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND CS CLASS（ケイマン諸島）	8, 890. 995	920, 000	103

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第２期～第７期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

決算期	第２期～第７期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	10,609	209	2.0	—	—	—
コール・ローン	144,552	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.2%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第２期～第７期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第７期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） MIRAE ASSET GLOBAL GREAT CONSUMER EQUITY FUND CS CLASS	49,193.595	4,767,597	97.1

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第１期末	第７期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	4,981	4,981	5,000

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年３月19日現在

項目	第７期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,767,597	96.2
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	5,000	0.1
コール・ローン等、その他	182,425	3.7
投資信託財産総額	4,955,023	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2014年10月20日）、（2014年11月19日）、（2014年12月19日）、（2015年１月19日）、（2015年２月19日）、（2015年３月19日）現在

項目	第２期末	第３期末	第４期末	第５期末	第６期末	第７期末
(A)資産	**5,258,456,544円**	**6,269,398,337円**	**5,084,275,611円**	**5,025,365,791円**	**5,037,294,007円**	**4,955,023,689円**
コール・ローン等	150,568,478	116,761,598	131,627,919	126,184,201	138,396,363	182,425,405
投資信託受益証券（評価額）	5,102,887,069	5,667,635,742	4,947,646,695	4,774,180,594	4,893,896,647	4,767,597,287
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	5,000,997	5,000,997	5,000,997	5,000,997	5,000,997	5,000,997
未収入金	—	480,000,000	—	119,999,999	—	—
(B)負債	**37,293,037**	**347,599,649**	**33,710,770**	**116,925,622**	**33,386,535**	**46,256,303**
未払金	—	240,000,000	—	60,000,000	—	—
未払収益分配金	31,307,379	30,976,462	27,776,700	27,801,225	27,852,085	27,539,259
未払解約金	6,329	70,539,721	23,209	23,480,023	—	13,600,634
未払信託報酬	5,941,583	6,007,548	5,798,102	5,496,695	5,352,766	4,903,572
その他未払費用	37,746	75,918	112,759	147,679	181,684	212,838
(C)純資産総額（A−B）	**5,221,163,507**	**5,921,798,688**	**5,050,564,841**	**4,908,440,169**	**5,003,907,472**	**4,908,767,386**
元本	5,692,250,884	5,632,084,100	5,050,309,185	5,054,768,292	5,064,015,578	5,007,138,155
次期繰越損益金	△ 471,087,377	289,714,588	255,656	△ 146,328,123	△ 60,108,106	△ 98,370,769
(D)受益権総口数	**5,692,250,884口**	**5,632,084,100口**	**5,050,309,185口**	**5,054,768,292口**	**5,064,015,578口**	**5,007,138,155口**
１万口当り基準価額（C／D）	**9,172円**	**10,514円**	**10,001円**	**9,711円**	**9,881円**	**9,804円**

＊第１期末における元本額は5,526,015,136円、当作成期間（第２期～第７期）中における追加設定元本額は354,148,873円、同解約元本額は873,025,854円です。
＊第７期末の計算口数当りの純資産額は9,804円です。
＊第７期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は98,370,769円です。

■損益の状況

第２期　自2014年９月20日　至2014年10月20日　　第５期　自2014年12月20日　至2015年１月19日
第３期　自2014年10月21日　至2014年11月19日　　第６期　自2015年１月20日　至2015年２月19日
第４期　自2014年11月20日　至2014年12月19日　　第７期　自2015年２月20日　至2015年３月19日

項目	第２期	第３期	第４期	第５期	第６期	第７期
(A)配当等収益	**40,643,277円**	**41,276,194円**	**37,734,145円**	**39,309,214円**	**32,842,791円**	**32,721,059円**
受取配当金	40,638,055	41,270,704	37,728,819	39,304,374	32,836,170	32,716,873
受取利息	5,222	5,490	5,326	4,840	6,621	4,186
(B)有価証券売買損益	**△ 635,593,558**	**747,034,669**	**△ 263,541,865**	**△ 152,045,783**	**86,878,678**	**△ 39,177,574**
売買益	1,784,927	762,594,110	6,983,785	922,414	86,879,543	360,121
売買損	△ 637,378,485	△ 15,559,441	△ 270,525,650	△ 152,968,197	△ 865	△ 39,537,695
(C)信託報酬等	**△ 5,979,329**	**△ 6,045,720**	**△ 5,834,943**	**△ 5,531,615**	**△ 5,386,771**	**△ 4,934,726**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**△ 600,929,610**	**782,265,143**	**△ 231,642,663**	**△ 118,268,184**	**114,334,698**	**△ 11,391,241**
(E)前期繰越損益金	**162,175,303**	**△ 458,713,824**	**261,157,823**	**1,728,944**	**△ 144,337,778**	**△ 57,112,868**
(F)追加信託差損益金	**△ 1,025,691**	**△ 2,860,269**	**△ 1,482,804**	**△ 1,987,658**	**△ 2,252,941**	**△ 2,327,401**
（配当等相当額）	（ 8,655,108）	（ 10,859,292）	（ 10,976,031）	（ 12,852,590）	（ 13,380,908）	（ 13,675,657）
（売買損益相当額）	（△ 9,680,799）	（△ 13,719,561）	（△ 12,458,835）	（△ 14,840,248）	（△ 15,633,849）	（△ 16,003,058）
(G)合計（D＋E＋F）	**△ 439,779,998**	**320,691,050**	**28,032,356**	**△ 118,526,898**	**△ 32,256,021**	**△ 70,831,510**
(H)収益分配金	**△ 31,307,379**	**△ 30,976,462**	**△ 27,776,700**	**△ 27,801,225**	**△ 27,852,085**	**△ 27,539,259**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 471,087,377**	**289,714,588**	**255,656**	**△ 146,328,123**	**△ 60,108,106**	**△ 98,370,769**
追加信託差損益金	△ 1,025,691	△ 2,860,269	△ 1,482,804	△ 1,987,658	△ 2,252,941	△ 2,327,401
（配当等相当額）	（ 8,655,108）	（ 10,859,292）	（ 10,976,031）	（ 12,852,590）	（ 13,380,908）	（ 13,675,657）
（売買損益相当額）	（△ 9,680,799）	（△ 13,719,561）	（△ 12,458,835）	（△ 14,840,248）	（△ 15,633,849）	（△ 16,003,058）
分配準備積立金	165,531,992	292,574,857	265,280,413	269,804,785	273,312,950	270,053,429
繰越損益金	△ 635,593,678	—	△ 263,541,953	△ 414,145,250	△ 331,168,115	△ 366,096,797

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は29ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	34,664,068円	40,959,518円	31,899,290円	33,777,674円	31,365,275円	27,786,418円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	121,055,956	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8,655,108	10,859,292	10,976,031	12,852,590	13,380,908	13,675,657
(d) 分配準備積立金	162,175,303	161,535,845	261,157,823	263,828,336	269,799,760	269,806,270
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	205,494,479	334,410,611	304,033,144	310,458,600	314,545,943	311,268,345
(f) 分配金	31,307,379	30,976,462	27,776,700	27,801,225	27,852,085	27,539,259
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	174,187,100	303,434,149	276,256,444	282,657,375	286,693,858	283,729,086
(h) 受益権総口数	5,692,250,884口	5,632,084,100口	5,050,309,185口	5,054,768,292口	5,064,015,578口	5,007,138,155口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第　2　期	第　3　期	第　4　期	第　5　期	第　6　期	第　7　期
	55円	55円	55円	55円	55円	55円
（単　　価）	（9, 172円）	（10, 514円）	（10, 001円）	（9, 711円）	（9, 881円）	（9, 804円）

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（　）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて
・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》
●運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月１日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の２種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。
●書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月１日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」に変更されました。
・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド 豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／通貨セレクト・クラス

「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ（豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））」の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト－ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド　豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／通貨セレクト・クラス」は、2015年２月27日に第１期決算を迎えておりますが、2015年３月19日現在、決算情報を入手できておりません。

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2014年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第７期の決算日（2015年３月19日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を32～33ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2014年９月20日から2015年３月19日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
512 国庫短期証券 2015/5/18	1,799,994		
520 国庫短期証券 2015/6/22	1,499,977		
496 国庫短期証券 2015/3/9	1,099,998		
491 国庫短期証券 2015/5/14	999,999		
515 国庫短期証券 2015/6/1	999,999		
438 国庫短期証券 2015/3/20	999,998		
500 国庫短期証券 2015/3/23	999,997		
518 国庫短期証券 2015/6/15	999,995		
502 国庫短期証券 2015/3/30	199,999		
464 国庫短期証券 2015/1/14	149,999		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年３月19日現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンド（12,033,993千口）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区分	2015年３月19日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	8,700,000	8,699,964	72.0	—	—	—	72.0

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年3月19日現在						
区　　分		銘　　柄	年　利　率	額面金額	評　価　額	償還年月日
			%	千円	千円	
国債証券		438 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2015/03/20
		500 国庫短期証券	—	1,000,000	999,998	2015/03/23
		502 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2015/03/30
		508 国庫短期証券	—	100,000	100,000	2015/04/27
		510 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2015/05/12
		491 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2015/05/14
		512 国庫短期証券	—	1,800,000	1,799,995	2015/05/18
		515 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2015/06/01
		518 国庫短期証券	—	1,000,000	999,995	2015/06/15
		520 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,977	2015/06/22
合　計	銘柄数	10銘柄				
	金　額			8,700,000	8,699,964	

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第５期　（決算日　2014年12月９日）

（計算期間　2013年12月10日～ 2014年12月 9 日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの第５期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

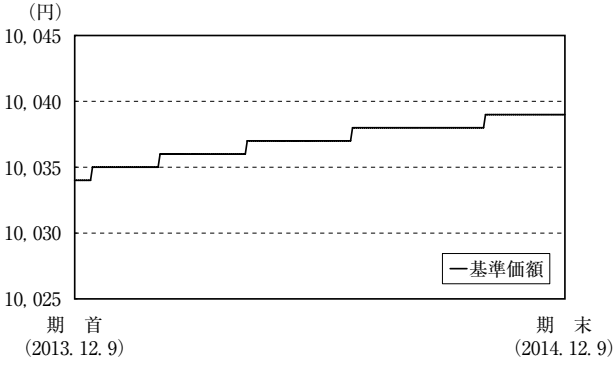
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額の推移



年　月　日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期　首）2013年12月９日	10,034	—	69.6
12月末	10,035	0.0	63.0
2014年１月末	10,035	0.0	70.9
２月末	10,036	0.0	65.8
３月末	10,036	0.0	67.1
４月末	10,037	0.0	69.1
５月末	10,037	0.0	69.1
６月末	10,037	0.0	67.6
７月末	10,038	0.0	72.5
８月末	10,038	0.0	73.1
９月末	10,038	0.0	68.8
10月末	10,039	0.0	64.6
11月末	10,039	0.0	64.6
（期　末）2014年12月９日	10,039	0.0	58.5

（注１）騰落率は期首比。
（注２）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注３）当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,034円　期末：10,039円　騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券（３カ月物）の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■１万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合　計	—

（注）費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公　社　債

（2013年12月10日から2014年12月９日まで）

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	2,599,774	— （2,690,000）

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公　社　債

（2013年12月10日から2014年12月９日まで）

当期				
買付			売付	
銘柄		金額	銘柄	金額
		千円		千円
464	国庫短期証券　2015/1/14	149,999		
419	国庫短期証券　2014/12/22	99,999		
477	国庫短期証券　2014/12/8	99,996		
475	国庫短期証券　2014/11/25	99,992		
454	国庫短期証券　2014/8/25	99,990		
433	国庫短期証券　2014/5/26	99,988		
493	国庫短期証券　2015/2/23	89,998		
473	国庫短期証券　2014/11/17	79,995		
452	国庫短期証券　2014/8/18	79,991		
431	国庫短期証券　2014/5/19	79,991		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	480,000	479,995	58.5	—	—	—	58.5

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当期末						
区分		銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
			%	千円	千円	
国債証券		479 国庫短期証券	—	70,000	69,999	2014/12/15
		419 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/22
		464 国庫短期証券	—	150,000	149,999	2015/01/14
		490 国庫短期証券	—	70,000	69,997	2015/02/09
		493 国庫短期証券	—	90,000	89,998	2015/02/23
合計	銘柄数	5銘柄				
	金額			480,000	479,995	

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	479,995	58.5
コール・ローン等、その他	340,319	41.5
投資信託財産総額	820,315	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月９日現在

項目	当期末
(A)資産	**820,315,287円**
コール・ローン等	340,319,449
公社債(評価額)	479,995,838
(B)負債	—
(C)純資産総額(A−B)	**820,315,287**
元本	817,136,908
次期繰越損益金	3,178,379
(D)受益権総口数	**817,136,908口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,039円**

＊期首における元本額は815,881,793円、当期中における追加設定元本額は358,153,378円、同解約元本額は356,898,263円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）998円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-07　9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-09　9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-11　9,962円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、アジア高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド　Ａコース4,988,527円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド　Ｂコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド　Ｃコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド２　Ａコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド２　Ｂコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド３　Ａコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド３　Ｂコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド３　Ｃコース179,498円、世界優先証券ファンド（為替ヘッジあり／限定追加型）998円、ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）3,988,832円、ＵＳ短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）4,984円、ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りＣＢファンド（限定追加型）為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りＣＢファンド（限定追加型）為替ヘッジなし904,221円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興４カ国不動産関連ファンド－成長の槌音（つちおと）－11,000,000円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ277,939,483円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ155,681,197円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　通貨セレクト・コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）199,295円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）20,016,725円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）4,000,959円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株式ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期　自2013年12月10日　至 2014年12月９日

項目	当期
(A)配当等収益	**423,234円**
受取利息	423,234
(B)有価証券売買損益	**2,048**
売買益	2,048
(C)当期損益金(A＋B)	**425,282**
(D)前期繰越損益金	**2,803,343**
(E)解約差損益金	△ **1,321,868**
(F)追加信託差損益金	**1,271,622**
(G)合計(C＋D＋E＋F)	**3,178,379**
次期繰越損益金(G)	**3,178,379**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月１日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の３分の２以上の賛成を得ること」に変更されました。

・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。

・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。